

第17回 なるほど！なっとく！！ 高次脳機能障害 ～さらなる理解を求めて～

テーマ：高次脳機能障害者にとってのコミュニケーション ～社会とのコミュニケーションを考える～

平素は特定非営利活動法人高次脳機能障害者支援「笑い太鼓」の活動に格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここ数年で高次脳機能障害の名前が徐々に広まってくるにつれ、各方面から、高次脳機能障害を持った方に関する相談の件数も増えて参りました。「やる気がない」「人が変わった」「キレやすい」などと誤解される症状が多い高次脳機能障害をお持ちの方たちにとって、周囲の関係者が正しい理解と知識をもって適切な対応をとることが、地域の中で安心してともに暮らして、働いていくためには欠かせないことと考えます。

こういった状況を踏まえ、笑い太鼓では高次脳機能障害に関わる行政、医療、福祉関係者や、当事者、家族、関心のある一般の方を対象に連続講座を企画しております。

今回の講演会はテーマを「コミュニケーション」とし、「気持ち」や「思い」「感じ方」を「正しく伝え」「正しく受け取る」という機能がうまく働かない高次脳機能障害者にとって、社会との良好な関係を築くために、どのように「コミュニケーション力」をつけていくかを考えます。

講師に、そのテーマと一緒に考えるにふさわしい種村純先生（川崎医療福祉大学教授）と、種村留美先生（神戸大学大学院保健学研究科教授）をお招きしての講演会といたしました。

ぜひ、多くの皆様に聴講いただき、更なる理解と支援の輪を広げていただけますようご案内いたします。多数のお申し込みをいただきますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

平成26年12月

特定非営利活動法人
高次脳機能障害者支援 「笑い太鼓」
理事長 河合秀矩